

大分教育事務所訪問 37

大分市立滝尾小学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「夢に向かって自ら学び、心豊かで、最後までがんばり通す子ども」を育成するために、めざす子ども像を「よく学ぶ子（かしこく）」「よく交わる子（やさしく）」「よく鍛える子（たくましく）」として、子ども、教職員、家庭や地域を「つなぐ」ことをスローガンにして、学習部、徳育部、体育部の3部と各学年部を中心に組織的に取り組まれています。

特に、注目すべきは、次の世代を担う若手教員の指導力の向上を図るために、全校の教職員が講師になって行う研修会、「T-time」を指導教諭を中心に計画的に行っていることです。その内容も「通知表所見の向こうに保護者等の笑顔・納得が見えるか」「年間を通した体力づくり」「学級づくり」「外国語活動」「算数好きな子どもを育てる」・・・等、明日からでも使えるものであり、さらに講師は、それぞれの得意な分野で行うことで、学ぶ側も指導する側もWINWINとなるものです。年間15回程度計画しており、私も参加したいと思いました。

今後は、学校経営計画表にある、それぞれの取組項目が、どの「資質・能力（3本柱）」を育てるのかを明確にすることで、教職員や保護者・地域のベクトルが揃いやすくなると思います。そのことで、方法（手段）は担当者に任せることができ、それぞれの当事者意識がより高まることで、人材育成にもつながると思いました。

授業から学ぶ

全27学級を参観させて頂きありがとうございました。短時間の参観で失礼しましたが、どの教室からも前向きに学びに向かう姿勢があり、拍手や笑顔など安心・安全な教室環境を感じました。また、トイレのスリッパや、靴箱、掲示物、ロッカーなども、子ども達が自然と守っているように思えました。

どの学校にもお伝えしておりますが、終末の「振り返り」で、子ども達がどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」とすることで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になります。そのような、日常的な実践を行うことで授業力がより向上すると思いました。



NO.176 2021年7月 大分市立滝尾小学校

かしこく

自分の考えを、ノートに書く。書くことで、思考が整理され、説明する力もついてくる。



NO.174 2021年7月 大分市立滝尾小学校

やさしく

「すごい」「私と一緒にだね」「がんばったね」そのような思いを拍手で伝える。拍手があふれる。



NO.175 2021年7月 大分市立滝尾小学校

たくましく

相手の良さを認めつつも、切磋琢磨するから、共に成長するんだね。



NO.177 2021年7月 大分市立滝尾小学校

向き合う

発言する人の方を向くのは、ルールだからではない。その友達から学ぶため。そして、応援するため。



NO.178 2021年7月 大分市立滝尾小学校

学び合う

友達の考えを理解しようとすることで、相手の良さを発見する。学び合うことで、友情も深まる。